

《募集テーマ》

野麦・高根町の可能性を、未来へつなぐ地域プロジェクト
～廃校・野麦学舎から始まる挑戦～



受け入れ先（ともに活動する）団体：野麦学舎保存会



標高 1,324m、真夏でも涼しく、冬には深い雪に包まれる高根町野麦。
大正時代から守り継がれてきた旧分校「野麦学舎」には、いま、個性豊かな人たちが集まっています。国際映像祭で受賞を重ねるカメラマン、宮川朝市に毎朝店を出す農家、野麦の山に入る木こり、宮大工や左官、茅葺など腕ききの職人、伝統野菜を美味しく調理する料理人、音楽や演劇・人形使いなど多彩なアーティスト。それぞれの世界で活動する人たちが、地域の文化や暮らしを守りながら、“ここ”ならではの可能性を形にしています。
人よりも猿たちが多くなってしまった里山の整備、地域に眠る資源の発掘～新しい仕事づくり、担い手不足への挑戦。私たちは野麦学舎を拠点に、この地域の未来をともに考え、動き、つくっていく仲間を探しています。

○ 団体の紹介

私たち野麦学舎保存会は、2021年、取り壊しの瀬戸際にあった旧分校「野麦学舎」（岐阜県高山市高根町野麦）の価値を未来へつなぐため、保存・活用することを目的に結成された市民団体です。鎌倉街道・江戸街道とかつては交通の要所だった野麦街道にある野麦学舎を拠点に、地域内外のさまざまな人たちとともに、イベント企画運営や文化活動、建物の改修、里山整備、地域資源の掘り起こしなどに取り組んでいます。



○ 活動の内容（おもなもの）

- ・野麦学舎の維持管理・改修と来訪者・視察者の受け入れ
- ・人が暮らしやすい里山整備の実施
- ・「野麦学舎祭」やWSなど廃校活用イベントの企画・運営
- ・伝統芸能・集落行事など文化の継承活動
- ・高根地域の魅力発信と、地域の担い手づくり



《募集の概要》

募集テーマ	野麦・高根町の可能性を、未来へつなぐ地域プロジェクト ～廃校・野麦学舎から始まる挑戦～
募集人員	1 名
活動拠点【常駐場所】 （活動地域）	高山市高根町【野麦学舎】 （高根地域・高山地域で活動）
活動内容	《任期中共通の活動》 地域の中へ飛び込み、まずは手を動かす。そこから地域を知り、伝え、人と人をつないでいくことを基本の活動とします。野麦地区には暮らしているのが3世帯5名、高根町の人口でも248名（高齢化率 70%）と多くの場面で人手が足りていません。 ◆野麦・高根地域の里山整備 「地域の課題」を「地域の仕事」へ。 ・かつて人が暮らしの中で手を入れてきた里山を、もう一度、人の暮らしに近づけていきます。人口減少とともに手が行き届かなくなった山林では、人と獣の境界も曖昧になっています。保存会メンバーや地域住民、外部の協力者とともに、不要な木々の伐採や水路整備などを実践しながら、野麦を里山整備のモデル地区としていくことを目指します。 さらに、ここで培った経験や技術を高根町や他地域へ展開し、将来的には里山整備そのものを地域に必要とされる仕事として育てていきます。 *保存会員の林業従事者および協力者との共同作業となります。

◆地域ガイド

・高根町には、乗鞍岳と御嶽山をはじめとする自然、豊かな水、農業、文化、歴史、そして魅力的な人々など、多くの地域資源があります。一方で、それらをつなぎ、地域内外へ伝えていく人材が不足しています。多くの可能性を秘めていながらも、少子高齢化、若者の流出により、活かしきれていない資源やスキマを活用し、高根を知る案内人として、地域を訪れる個人・団体・企業・教育機関などの目的に応じて、高根町ならではの体験や人との出会いを組み合わせたコーディネートし、新たな出会いを生み出していきます。

◆情報発信

・野麦や高根町での日々の暮らしや挑戦、人々の想いを、写真・映像・文章など様々な表現を通して SNS やホームページなどで発信します。情報を届けるだけではなく、高根町という地域に共感し、新たな仲間が生まれるような「物語」を育てていきます。

＊保存会員のカメラマンの撮影協力の元、協力隊員の個性を活かした発信を重ねていきます。

私たちは、それぞれの専門性を持ち寄りながら、新しい挑戦を地域の中で実践することを大切にしています。そして何より、協力隊員を「決められた仕事をする人」とは考えていません。上記の活動を軸としながら、自らの得意分野や発想を活かして地域へ飛び込み、人と出会い、自ら考え、自ら動く。そんな小さな挑戦を、一緒に積み重ねていきたいと考えています。

	《1 年ごとの取り組みのロードマップ》 ◆1 年目：「知る・飛び込む」 地域で暮らし、地域を歩き、人と出会い、高根町を深く知る一年。 地域資源や課題を整理するとともに、小さな挑戦を始め、地域との信頼関係を築きます。 ・野麦学舎祭を地域内外の仲間と共同制作 ・地域資源の調査・記録、住民や関係団体とのネットワークづくり ・里山整備先進地域への視察 ・山林、水路、獣害など現状と課題を把握・記録 ・情報発信の土台づくり ・小さな挑戦・交流企画の試行 ◆2 年目：「試す・育てる」 地域資源を活かした企画を複数立ち上げます。 多様な人や団体をつなぎ、挑戦を地域全体へ広げながら、高根町らしい新たな価値を育てます。 ・野麦での里山整備を継続し、作業方法や必要な人員・費用などを検証 ・地域内外から参加できる里山整備の仕組みづくり ・他地域への展開を見据えた試行と事業化の検討 ・地域資源を活かした事業・体験プログラムの実施 ・手応えのある取り組みの深化、運営体制づくり ◆3 年目：「定着・つなぐ」 手応えのある取り組みを地域に定着させ、任期後も継続できる体制を整えます。自身も高根町で暮らし続けることを見据え、地域での活動を「自分の仕事」へつなげていく一年です。 ・野麦における継続的な里山整備体制の確立 ・野麦で培ったノウハウを活かした他地域での里山整備の実践 ・手応えのある事業の定例化・事業化
--	--

【令和 9 年度 高山市地域おこし協力隊員募集】

	・次世代へ引き継げる運営体制づくり ・任期後の仕事として継続できる事業体制づくり
	《取り組みの中での活動内容の割合》 ・デスクワーク（事務的な活動）： 3 割 ・フィールドワーク（外(現場)での活動）： 7 割
活動期間	1 年ごとに更新（最長 3 年間）
活動時間	基本勤務時間は 8 時 30 分から 17 時までとし、冬期（1～3 月）は週 3 日程度、通常期は週 5 日程度、繁忙期には週 6 日程度、イベント開催時には連日の活動となる場合がありますが、年間を通じて平均週 5 日程度となるよう、閑散期やイベント後に振替休日を設けて調整します。 ※ 勤務時間の概ね 3 分の 2 は保存会や地域での活動に従事し、残りの時間については、任期終了後の定住・定着（起業・就業・複業など）に向けた準備や、自身の専門性を活かした活動に充てていただきます。 —冬季の活動— 高根町の冬は積雪が多く、地域活動の内容も季節によって変化します。この時期は、高山市街地や他地域へ積極的に足を運び、新たなネットワークづくりや企業・教育機関との連携、次年度へ向けた企画立案など、春からの活動につながる時間として活用することを推奨します。 一方で、厳しくも美しい高根町の冬の暮らしに魅力を感じる方には、雪国ならではの生活や自然環境を体験しながら、無理のない範囲で地域に滞在し続けられるよう、地域住民とともに生活面もサポートしていきます。 高根町では、四季それぞれに異なる地域の魅力と学びがあります。冬はゆっくりと内外から地域を見つめ直し、新しい挑戦を準備する大切な時間と考えています。
募集対象 (こんな方を求めています)	地域に飛び込み、人との出会いや対話を楽しみながら、新しい挑戦を形にしていける方を求めています。決められた仕事をこなすだけでなく、「自分ならここで何ができる

【令和 9 年度 高山市地域おこし協力隊員募集】

	だろう？」と考え、行動できる方。多様なメンバーと協働しながら、高根町の未来を一緒につくっていただける方を歓迎します。 特に、次のような経験や得意分野をお持ちの方は、その力を活かしていただけます。 ・ 里山整備・環境保全 ・ 情報発信・映像写真制作 ・ 地域ガイド・コーディネート もちろん、これらに限りません。自分の得意分野や新しい発想を、この地域で試してみたい方を歓迎します。
活動中での支援	保存会メンバーや地域住民とともに、集落の環境整備や祭り、草刈り、共同作業などに参加し、地域の暮らしを知るところからスタートします。一緒に作業し、食事を囲み、話をする。そうした積み重ねから、地域との自然な関係を育んでいきます。 保存会には、映像・農業・林業・建築・芸術・ツーリズムなど、さまざまな分野で活動する実践者が集まっています。それぞれの専門性を持つメンバーと活動しながら、自分の得意分野や興味を活かせる道と一緒に探していきます。 《待遇など》 ・ 保存会メンバーによる活動・企画の伴走 ・ 地域住民や関係団体への橋渡し ・ 野麦学舎の工具・機器・備品等の利用 ・ 住まい探しのサポート 《任期終了後に向けた支援》 「地域の課題」を、3年後の仕事につなげる。 乗鞍岳と御嶽山。二つの 3000m 級の山々に囲まれた高根町には、その標高と豊かな水を活かした暮らしや産業があります。小水力発電、高冷地野菜、夏の涼しい気候、そして雄大な山々の景観。私たちは、こうした地域資源に、大

【令和 9 年度 高山市地域おこし協力隊員募集】

	きなヒントがあると考えています。また同時に高根にある課題そのものが事業になるとも考えています。その一つとして、野麦で取り組む里山整備をモデルケースとし、任期後も里山整備を継続しながら、そこで培った技術や経験を高根町や他地域へ展開することで、里山整備を地域に必要とされる仕事の一つとして育てていくことを目指します。 さらに、高冷地農業、林業、観光ガイド、映像・写真、宿泊、飲食、高地トレーニング、教育旅行など、それぞれの得意分野や地域資源を組み合わせながら、高根で自分らしい仕事と暮らしを組み立てていきます。 私たちにとって、協力隊員は 高根の未来を、そして日本の里山をつくる仲間です。
問い合わせ先	◆高山市総合政策部地域政策課 電 話：0577-35-3183（担当：大門） e-mail：chiikiseisaku@city.takayama.lg.jp ◆野麦学舎保存会 電 話：090-1834-6916（担当：高嶋） e-mail：nomugi88@gmail.com ホームページ URL：https://nomugi.themedia.jp